



【2018-5】 2018年5月30日

株式会社日本F4協会

2018年度 JAF国内競技車両規則 フォーミュラ4への適合について

JAFより2018年度のF4レース国内競技車両規則が一部変更されています。

当協会からは改訂内容について3月1日付け【2018-3】にて解説ご案内しています。

今年度のF4レースは既に開幕されていますが、参加車両の中には下記規則に適合していない車両がありました。参加者の皆様には今一度の点検と確認をお願いします。

(JAF ホームページでの改正概要の公示 http://jaf-sports.jp/news/detail_000252.htm)

JAF F4車両規則 第2条 車体と寸法からの抜粋

2.7)ウイング

フロントおよびリアウイングは2枚以下で構成され3枚以上で構成することは禁止する。なお、ウイングの形状は前方および上方から見て長方形であり、全域にわたって同一断面形状を維持しなくてはならない。

各ウイングにガーニーフラップの取り付けが許されるが、外形形状は平板であれば自由、ただし同一断面形状をなすウイングの後端から前後30mm範囲に限り許される。このガーニーフラップとウイングとの間に隙間を開けてはならない。

各ウイングには平板の翼端板を設ける事ができる。フロントウイングの翼端板の全ての角部(上側、下側共)には車両側方から見て、最小半径35mmのRを付けなければならない。また、平板の周囲は、半径5mm以上の円弧の断面形状を持つこととする。このR形状を形作る範囲は平板とならなくてもよい。

★本規則では翼単板の角部のRが側方から見て、最小35mmと規定されています。

(昨年までは推奨項目でしたが、本年度より安全性向上のための適合が必要です。)

以上